



### 写団やまどりが10周年 町の四季を彩る写真展

写団やまどり（和野喜一会長、会員10人）の設立10周年記念写真展は2月7日から13日までの8日間、総合センターロビーで開催されました。

春の草花、夏の新緑、秋の紅葉、冬の雪花と四季折々の町の風景や人物、祭りなど会員の感性豊かな作品37点を展示。納税相談とも日程が重なり多くの町民が鑑賞に訪れ、力作ぞろいの作品に見入っていました。

和野会長は「四季折々の豊かな自然を満喫できるのは葛巻ならではの。10周年をステップとして、さらに葛巻のいい所を発見し、町内外に発信していきたい」と力を込めました。



力作37点が並んだ写真展④ 写団やまどりのメンバー

### 防災体制がさらに充実 13と16分団に最新車両

2月10日、町消防団の栗山・泉田地区を管轄する第13分団（大吹順悦分団長、団員18人）と四日市地区を管轄する第16分団（四日市宏幸分団長、団員15人）にそれぞれ小型動力ポンプ積載車が町から交付されました。

今回の交付は、既存の車両の老朽化による更新。機能性に優れた最新型の車両で、エンジンカッターやチェーンソーなどの救助資機材が搭載されています。

交付式で鈴木重男町長は「日頃の管理を適正に行い、町民の安心確保のために有効活用してほしい」とあいさつ。両分団長は「有事の際、迅速に対応できるよう訓練を重ねます」と誓いました。



新車両の交付を受ける第13分団員と第16分団員

### 牛肉たっぷり学校給食 地元食材に児童ら感謝

町学校給食センターは1月26日、今年度3回目となる「葛巻たっぷり牛肉の日」を実施。町が食材料費を助成し、町内の全小中学校と高校に、くずまき高原牧場産の牛肉を使った給食を提供しました。

江刈小学校（吉田千賀子校長、児童26人）には鈴木重男町長らが訪問。児童は牛肉がたっぷり入った牛丼などを一緒に味わい、地元産食材の恵みに感謝しました。

鈴木重男町長は「食べ物はそれぞれの地域で生産することが大切。いっぱい食べて大きく成長してほしい」と呼び掛け、高橋純矢君（6年）は「とてもおいしかった。これからも残さず食べて大きくなりたい」と誓いました。



葛巻産の牛肉を使った給食を鈴木町長と一緒に味わう江刈小の児童たち

### 心がほっこりと温まる 樹原ゆり&高橋和朗朗読会

朗読を楽しむ会（齋藤誠子代表）主催の「樹原ゆり・高橋和朗朗読会」は2月18日、新町の日曜ジャズ喫茶で開催され、二人の俳優による情感あふれる優しい語り口が聞き手の心を温めました。

約40人が来場。浅田次郎の作品「天国までの100マイル」が朗読され、それぞれの役柄に感情移入しながら朗読する語り口に来場者は涙しながら聞き入りました。

この朗読会は今年で13回目。初回から参加しているという遠藤トミエさん（68歳、四日市）は「今回も聞くことができ本当に良かった。ストーリーが自分の経験と重なり胸が熱くなりました」と目を潤ませていました。



樹原さんと高橋さんの朗読に聞き入る来場者



ワインを楽しむJA新いわての皆さん⑤ 会場を沸かせたふじボンとモウモウブラザーズのトーク

### 会話弾ませワイン堪能 恒例のパーティー盛会

くずまきワイン主催の「第26回高原の夕べ森のワインパーティー」は2月6日、モウモウ館で開催され、町民ら約180人が職場の同僚や友人との会話を楽しみながら、ワインやブランデーを心ゆくまで堪能しました。

この日は、タレントのふじボンとモウモウブラザーズが司会を務め、息の合ったトークと趣向を凝らしたテーブル対抗ミニゲームで会場を盛り上げました。

来場者への特典として、パーティーのしおりを二次会歓迎店（町内12店舗）へ持参すると、おつまみ1品提供などのサービスが受けられる企画も行われ、パーティー終了後は多くの方々が二次会へも足を運びました。